

生産性向上支援訓練カリキュラム

A. 生産管理	自社に適した生産計画を作成し、工程管理に必要な視点を理解する！
工程管理	生産計画と工程管理

コースのねらい	多品種少量化や短納期化など、顧客の多様なニーズに適した生産計画の策定を目指して、工程管理に必要な視点、生産計画・統制への柔軟な取り組み方について理解し、自社の納期管理を見直していくためのポイントを習得する。
----------------	---

対象	(中堅・管理者層向け) ・生産計画の立て方を学びたい方 ・工程管理を改善したい方
-----------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 工程管理の考え方	(1) 生産活動の基本 ① 改善活動の目的と狙い ② 改善実施時のポイント (2) 生産現場の問題とは ① 問題とは、問題の種類 ② 問題を見つけるには ③ 問題点の明確化の手順 (3) 工程管理の目的、必要となる対応 生産管理とは 生産管理のねらい 生産の5要素 (4) 工程管理の基礎データ ① 標準時間と設定方法 ② 工数管理と直接労務費差異の要因 ③ リードタイムと短縮方法 (5) コスト低減の着眼点とムダの改善 ① 原価管理の基礎知識 ② 原価を構成する要素 (6) 現状分析 ① 問題の見つけ方 ② 問題の特定 (7) ムダの発見 7つのムダ	3.0
	2 生産計画の立案と作成手順	(1) 生産計画のつくり方と実現対策 ① 作成上の留意点 ② 作成上のねらい ③ 作成の流れ (2) 操業計画と負荷能力調整 不可計画とは 負荷計画の目的 負荷計画の流れ (3) 生産能力に合わせた負荷計画 ① 余力発生時や負荷オーバーの場合の考え方 ② スケジュールへの反映、リスケジュールの考え方 (4) 生産効率化評価のための管理手法 生産統制の機能 仕掛管理	1.0
	演習	① 付加価値、非付加価値、ムダを知る ② 所要量展開、調達を計画する ③ 作業負荷を求める	2.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
生産計画の重要性を理解し、工程基礎データの意味するところと目指すべき方向性を理解してもらうこと、および生産現場における問題・課題の抽出と現場の改善に取り組む実践的な手法を身に付けてもらうことを念頭に置いたものとした。

備考